

春ノ一表

西行四季物語

春

- ・夫 ぞれ 二如 たよ 法界 ほうかい の理 ことわ りをそむき 三種 せう 生 ちやう
- ・死 む の闇 やみ に入しよりこのかた 妄深 もうじん の
ちりにふうぜられて 自性 せう しゃう の
- はちすひらけす 煩惱 ぼんなん の雲 ぐも におほは
れて 本覚真如 ほんかくしんによ の月弥 ひよ くらししかる
- ・間 あいだ 無明 むみやう の長夜 ちやうや あげがたくしやうじ
の眠 ねふり さむる期 ぐ なくして 惑障 ぐつしやう の雲霧 ぐもきり